

消費者団体として コーデックスに参加してきて

食品と暮らしの安全基金 国際担当
チェンジコーデックス市民の会 事務局長
熊澤 夏子

2004/7/16 N. Kumasawa

食品と暮らしの安全基金 <http://www.tabemono.info>

- 特定非営利活動法人(NPO)
環境NGO 消費者NGO
- 1984年設立
- 会員は約4000人
- 食品と暮らしの安全、環境問題一般
農薬、環境ホルモン、遺伝子操作、有機農業、
食品国際規格、シックハウスなど
『食べるな、危険!』『食べたい、安全!』

2004/7/16 N. Kumasawa

IACFO(食品国際消費者機構)の コーデックス参加

- 1999年から参加。



1997年設立

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスに参加するのは？

- 加盟国政府 165ヶ国
- オブザーバー 192団体
(国際政府組織・国際NGO)

オブザーバーも発言が認められている。
コンセンサス方式のため、
会議に影響を与えられる。

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスへの参加

- 安全基金、チェンジコーデックスとしては、
19のコーデックス会議に参加。
- 表示部会(カナダ) 99,00,01,02,03,04
- 総会(イタリア、スイス) 99,01,03
- アジア部会(タイ、マレーシア) 99,02
- 食品添加物汚染物質部会(中国、オランダ)
00,02
- バイオ特別部会(日本)00,01,02,03
- バイオ作業部会(日本)00
(7月と10月の2回)

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの様子



2004/7/16 N. Kumasawa

寄付金によって活動

- 98年度 約190万
- 99年度 約530万
- 00年度 約510万
- 01年度 約300万
- 02年度 約340万
- 03年度 約230万

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの影響 JASの例(1)

- 賞味期限、有機食品
- JAS制度の手引き(JAS協会)

「平成11年のJAS法改正により、既存のJAS規格については、5年ごとに見直しを行うこととし、また、その際には、生産、取引、使用、または消費者の現況は将来の見通しに加え、国際的な規格(コーデックス規格等)の動向を考慮することとなりました。」

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの影響 JASの例(2)

- 有機食品の検査認証制度Q & A
(<http://www.maff.go.jp/soshiki/syokuhin/heya/jasindex.htm>)

< 問116 >

別表1(肥料および土壌改良資材)に掲げられているものは何を基準にして掲げているのですか。

(答)別表1の肥料及び土壌改良資材については、コーデックスのガイドラインで使用可能なものとして明示されているものを基本として整理しています。

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの影響 JASの例(3)

< 問120 >

別表2(病虫害の防除用に使用できる農薬)に掲げられているものは何を基準にして掲げているのですか。

(答)別表2の病虫害の防除用に使用できる農薬は、コーデックスのガイドラインで掲げられている資材の中で日本の農薬取締法において登録されている農薬、又は日本の農薬取締法に基づき登録されているもので化学的に合成されたものでない農薬をリストアップしています。

2004/7/16 N. Kumasawa

取り組んできたトピック

- 有機食品ガイドライン
- 原材料パーセント表示
- 遺伝子操作
- 醤油
- インスタントヌードル
- キムチ
- その他の表示に関する問題



2004/7/16 N. Kumasawa

情報公開の推進

- 月刊誌、機関紙で報告
『Change Codex』
『食品と暮らしの安全』
- 報告会、講演会の開催
- ホームページでの速報
- インターネット中継の実行
(総アクセス3000)
- 現地からのプレスリリース
(リリース登録130名、
ホームページ1日800-1300、
メルマガ登録2050名)



2004/7/16 N. Kumasawa

活動のアピール

- 遺伝子操作食品反対
(ビデオ、ポスターの配布)
- 放射線照射反対
(代替パッケージの配布)
- ダイオキシン、PCB対策を訴える
(ポスター、CDの配布)



2004/7/16 N. Kumasawa

消費者団体、NGOが参加する意味

- 政府の監視役
- 情報公開
- 経済的、政治的しがらみのない団体が存在することの重要性
- 担当者が長期に渡って関わることができる
- 企業NGO, 政府代表団として参加している企業アドバイザーとのバランス
(消費者代表の国際NGOは
食品国際消費者機構(IACFO)と国際消費者(CI))

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの取り組み 政府への提言

- さらなる情報公開を。
(採択された規格の和訳をホームページで公開する、
国内法との関連を明らかにする)
- コーデックスコンタクトポイントの役割を明らかに。
(文部科学省)
- コーデックス国内会議のあり方を見直す(連絡協議会
の改善、政府・企業・消費者・NGOの意見交換の
場を提供する)
- 専門知識・経験のある人がコーデックスに長期間関
われるような体制を。

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの取り組み 企業への提言

- コーデックスに関する知識を深める
- 国内法・業界ルールとコーデックスの関連
- 1企業としてではなく、国際社会での日本、ア
ジアの視点を持つ。(北米、EUに対抗できる
ように。)
- 消費者団体との協力体制

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの取り組み マスコミへの提言

- コーデックスに関する知識を深める
- コーデックスの影響を理解し、たくさんの記事
を！
- 政府の国際活動を評価してほしい
(バイオ特別部会の議長国、吉倉廣氏コーデ
ックス副議長)
- 政府・企業・消費者・NGO、それぞれの視点
を取り入れた記事を！

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの取り組み 消費者への提言

- コーデックスに関する知識を深める
- リスクに関する正しい知識を
- 1消費者としての視点だけでなく、国際社会
の中での日本、アジアの視点を持ってほしい
- 知ること、意見を述べること

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの取り組み

IACFQ・安全基金・チェンジコーデックスの活動(1)

<コーデックスの中での活動>

- 「科学」だけではないトピックへの積極的な取り組み。「公正な食品取引の保証」に関わる、消費者の優良誤認の問題。(食品表示、有機食品など。)OLF(Other Legitimate Factors:倫理的考慮、宗教的考慮、消費者の知る権利など)。
- 政府の立場では言えないことを言う。バランス機能の役割。
- 専門家派遣が将来の課題。

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの取り組み

IACFQ・安全基金・チェンジコーデックスの活動(2)

<コーデックスの中と外をつなぐ役割>
情報公開

「法」にはいつも解釈の幅がある。
政府からの情報だけではなく、
いろいろな解釈が出てきて当然。

2004/7/16 N. Kumasawa

コーデックスの取り組み

IACFQ・安全基金・チェンジコーデックスの活動(3)

<コーデックスの外での活動>

- コーデックスの存在、意義、役割を広く知らせる
- 消費者にとってわかりやすく興味深い情報を提供する
- 政府・企業との関係作り

2004/7/16 N. Kumasawa

謝辞 Special Thanks to

- ご寄付を寄せてくださった方々
- 山田由紀子さん
- 三浦公嗣さん
- 福富文武さん
- 牛尾光宏さん
- Ms. Ruth Lovisolo, Mr. Jim Riddle,
コーデックスに参加し続ける勇気を
授けてくれた人たちへ

2004/7/16 N. Kumasawa